

【省令第8条の4の5(1,000トン以上排出事業者用)】

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月29日

(宛先) 長野市長 萩原 健司 様

提出者

住所 長野市新田町1464番地

氏名 東邦建工株式会社

代表取締役 増子 桂介

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-264-5555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東邦建工株式会社
事業場の所在地	長野市新田町1464番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	令和6年度 年商60億円
③従業員数	93名
④産業廃棄物の一連の処理工程	<p>各排出現場 → 委託運搬処理 → 委託中間・再生・焼却処理</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項										
(管理体制図)										
工事部責任者(現場監督)										
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	水銀使用製品廃棄物				
	排出量	297.12t	262.59t	401.61t	469.64t					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード				
	排出量	325.90t	7.16t	4.68t	25.95t	2.40t				
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	水銀使用製品廃棄物				
	排出量	237.69t	210.07t	321.28t	375.71t					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード				
	排出量	260.72t	5.72t	3.74t	20.76t	1.92t				
	(今後実施する予定の取組) 全体として20%の削減目標設定、引き続き分別の徹底									
産業廃棄物の分別に関する事項										
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底									
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生利用できる物は分別する取組を引き続き図る									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和 年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	水銀使用製品廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組) 特に無し					
【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	水銀使用製品廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組) 再生利用できる物は分別する取組を図る					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和 年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	水銀使用製品廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組) 特に無し					
【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	水銀使用製品廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組) 特に無し					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	水銀使用製品廃棄物 建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・アスファルト・レンガ)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組) 特に無し					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	水銀使用製品廃棄物 建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・アスファルト・レンガ)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量					
③現状	(今後実施する予定の取組) 特に無し					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず (石膏ボード含)	水銀使用製品廃棄物 建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	全処理委託量	297.12t	262.59t	401.61t	469.64t	1,137.90t
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量					
	認定熱回収業者への処理委託量					
②計画	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・アスファルト・レンガ)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード
	全処理委託量	325.90t	7.16t	4.68t	25.95t	2.40t
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量					
③現状	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	(これまでに実施した取組) 特に無し					

【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール含)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	水銀使用製品廃棄物	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	全処理委託量	237.69t	210.07t	321.28t	375.71t		910.32t
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類		がれき類(コンクリート、廃アスファルト、レンガ)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボード	
②計画	全処理委託量	260.72t	5.72t	3.74t	20.76t	1.92t	
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組) 処理委託先への指示徹底						

別紙1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類(実績値・計画値)											合計
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡フチ)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器／	水銀使用製品廃棄物	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	がれき類(コンクリがら、廃アフコ)	繊維くず	金属くず	段ボール	再生ボーダー	
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	297.12t	262.59t	401.61t	469.64t		1,137.90t	325.90t	7.16t	4.68t	25.95t	2.40t	
	本年度排出量(計画)	237.69t	210.07t	321.28t	375.71t		910.32t	260.72t	5.72t	3.74t	20.76t	1.92t	
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績											
	本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績											
	本年度計画(目標)												
処理の委託 に関する事項	全処理委託量	前年度実績	297.12t	262.59t	401.61t	469.64t		1,137.90t	325.90t	7.16t	4.68t	25.95t	2.40t
		本年度計画(目標)	237.69t	210.07t	321.28t	375.71t		910.32t	260.72t	5.72t	3.74t	20.76t	1.92t
優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
再生利用業者 への処理委託量	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績												
	本年度計画(目標)												

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。